

# GO! GO! 55回生

長峰中学校 55 回生  
第 10 号  
平成 28 年 1 月 25 日発行

## 一年の計は元旦にあり

2016年がスタートして3週間が経ちました。『一年の計は元旦にあり』と言われてますが、この言葉の意味を知っていますか？“一年は年の初めの決意で決まる”、つまり、目標や計画を立て、コツコツ努力することが大切だということです。みなさんは、新しい年をどのような気持ちで迎えましたか？

「〇〇ができるようになりたい!」「〇〇な人になりたい!」・・・

目標は、小さくても大きくても構いません。何か目標を立ててみましょう。小さな成功を重ねて自信をつけていくうちに、いつの間にか大きな目標や夢に近づいていることでしょう。

55回生のみなさんが、毎日充実し、勉強にしっかりと取り組めるようにサポートしていきたいと思っています。

冬休みが終わりましたが、生活リズムは元に戻りましたか？

生活リズムをしっかり整え、さらに体力をつけて風邪を予防しましょう。

風邪予防の1つとして、2学期に話をしました、手洗いうがいをしっかりと！です。

昼食の前、外から帰って来たあとは必ず手洗いを心掛けましょう。この時期はインフルエンザも流行ってきますので自己管理をしっかりとしていきましょう。



## 3学期の各学級のクラス目標

### 1組

いよいよ1年生の最後の学期を迎えました。3学期は一番短い学期ですが、2年生になる日が迫ってきます。2年生になると先輩として、また3年生を支える立場として、今まで以上に自分で考えて行動する場面が増えます。その時に、しっかりと行動できるように、3学期は人から言われる前に今すべきことを「自分で考え行動できるクラス」を目標に頑張っていきたいです。

### 2組

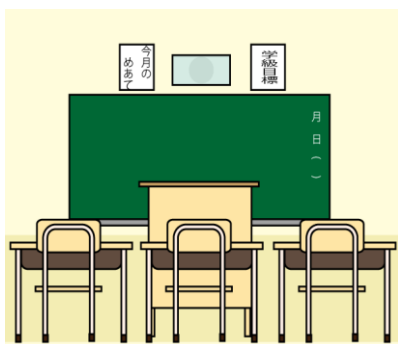
3学期は1年間のまとめであり、2年生への準備をする大切な学期です。2学期の最後は忘れ物が多かったので、これからも一人一人が意識して忘れ物が減るように生活していきたいです。4月には後輩が入ってきます。後輩の目標になれるように頑張りたいです。そして、このメンバーで過ごすのもあと少しなので、よい1年だったなと思えるようにしたいです。

### 3組

3学期は2年生への準備の学期でもありますが、私はこの3学期を楽しみたいと思っています。準備するのも大切だけど、3組で過ごすのも最後の学期なので、全員が笑顔で終われるようにしたいです。そのためには、学年目標である「時を守る」ことや切り替えを早くすることを今まで以上にみんなで意識することが大切です。3組全員で力を合わせて最後までやっていきたいです。

### 4組

3学期の学級目標は「忘れ物をしない」です。この目標は4組の1・2学期からの目標でもあります。2年生つまり先輩と呼ばれる前に、この目標をみんなで達成したいです。この目標は当たり前のようなのですが、簡単なことではありません。学年を締めくくり、1年を思い返した時に、「1年4組は良いクラスだった」と思えるように、そして2年生の新しいクラスでも頑張れるように1日1日を大切に頑張ります。



※ 3・4 ページに震災学習のクラス代表の人の感想文があります。

**55回生は、1月12日（火）～15日（金）の4日間、「防災学習」に取り組みました。**

**毎朝、テーマを変えて「震災についての知識」「家族との絆」「ライフラインが断たれたらどうするか。」「家にどのような備えがあるか。」「実際に地震があった時、どうすればいいか。」などを考えました。体験していないことを想像したり、考えたりすることは難しかったと思いますが、生徒たちは、どの日も真剣な面持ちで教師の話の聴いたり、作文を書いていた。**

**防災学習のまとめとなる避難訓練も、非常に素早く整然と動くことができている、「これは真剣に取り組むべきことだ。」という気持ちが伝わってきたのが嬉しかったです。**

#### 1年1組

私は、人や物のありがたさを新たに知りました。地震によって水道、電気、ガスなどのライフラインが使えなくなり、今まで当たり前のように使っていたものが使えなくなる。水を求める人は、最初は自分のことしか考えないようになっていたそうです。私はこの話を聞いたとき、地震によって、人としての心を忘れてしまうこともあるのではないかと思いました。人がお互いを助け合う。本当に小さいことでも人のありがたさを感じることができるんだと思いました。

この地震は絶対に忘れてはいけないことで、防災についていろいろ考えないといけないんだと思います。過去に起きたことを未来に生かしていくことが大事なんだと思います。今ある命を大切にしていけないといけないと思いました。

#### 1年2組

今回の防災学習で、地震とは怖いものだなあと改めて思いました。小学校のころはあまり深くまで学ばなかったけれど、中学校では地震が起こった時のことや、それから数か月後自分はどうするのか、など新たに学ぶことが多かったです。

一番印象に残ったのは、ライフラインの復旧状況についてです。ライフラインの中で一番復旧するのに時間がかかったのは「水」で、水道は90日後、下水道は134日後に復旧したそうです。僕は、90日間も水道が使えなかったらどうなるのだろうと考えて、いろいろなことを思います。例えば、飲み水やトイレ、そもそも水分にあたるようなものはどうやって確保したのだろうか、などです。でも震災にあった方々は、様々な工夫をして生きていたことを考えるとすごいなあとと思います。

今回の学習で、災害への備えがとても大切であることを知ることができたので、もう一度しっかり考えてみたいと思います。

#### 1年3組

学校で防災学習をするうちに、いろいろな人の話も聞いてみたいと思うようになりました。家に帰ってから母に聞いてみると、母の前の家はすごくかたむいていたそうです。家全体がかたむいているのではなく一階の壁だけが斜めにかたむいていたそうです。私の祖父はそのときの地震のゆれで、まくらもとに置いてあるたなの上の水そうがたおれて、頭から水をかぶったそうです。

そのような話を学校で思い出しながら、目黒巻をつくりました。実際に想像してみると、本当だったらどうなるのだろうと思いました…。

今でもこうしていろいろなことを考えることができるのは、たくさんの人が震災を忘れずに、未来につなげていこうとしているからだと感じました。このような気持ちを大切にしていきたいです。

私は、「幸せ運ぼう」の中の作文を読んでいるうちに、これを書いた人たちのほとんどが前向きになっていることがわかりました。そして、人を思う気持ちも伝わってきました。ほとんどの人はいやなことがあると、後ろ向きになると思います。私もそうです。でも、震災を体験した人たちはもっとつらかったと思います。でも、後ろ向きになる人たちの中で前向きになれる人がいると思うと、すごいと思います。そのような人が後ろ向きになっている人をはげますから、そこからどんどん前向きの人が増えるのだと思います。

私はこれから、震災に備えての準備もですが、まわりをよく見ることができて、いろいろな人に優しくできる人になりたいです。

1年4組

もし地震がおこったら、あたりまえのことが当たり前ではなくなるということがとてもよくわかりました。「普通に水が出てガスが出て」ということに感謝しないとと思った一週間でした。

今は、近所の人ともあまり関わりがなく、たぶんこのまま地震がきたら顔もあまり知らないのが、協力が出来ないのじゃないかなと思いました。だから、近所の人とかに自分から進んであいさつをしようと思いました。改めて、もう一度よく家の人とかと、待ち合わせ場所とか話し合っておこうと感じました。逃げるために、持ち物やその準備などもしっかりしておかないといけないとも思いました。犬もいて、つれていけないといけないので、そこは私が持ってあげようと思いました。とても大変なことだったんだと身にしみて感じました。

## 2月の行事予定より

- 2日（火） 新入学説明会
- 10日（水） 実力考査
- 24日（水） 学年末考査〔～26日（金）〕



## 【お願い】

ご連絡させていただいておりますように、長峰中学校では学校預かりの引き落としを年10回に分けて行っています。1月27日（水）が最終の引き落とし日になっており、それ以降は中学校に直接ご持参いただくことになります。学校預かり金の口座をご確認ください。